

富士山班インタビュ

M2 小川新 M1 小川智司

大河内研といえど、と聞けば必ず返ってくる答えが「富士山」。本特集では、大河内研のメインフィールドといっても過言ではない富士山を対象とした研究を行っているM2小川新とM1小川智司のダブル小川にお話しを伺った。

山本 まず小川新さん、研究テーマを簡単に教えてください。

小川新 自由対流圏高度における雲水化学の解明を目的に研究をしています。雲水中にどのような化学成分がいつ、どのようなときに、どれだけ含まれているかを調べています。また、日本上空のバックグラウンド大気や越境汚染の解明も行っています。

水銀・重金属、富士山頂での研究 新たな領域へ

山本 では、なぜこのテーマを選んだのかを教えてください。

小川新 最初は丹沢がやりたかったけど、話の話を聞いて断念。気象にも元々興味があったし、空にふわふわ浮いている雲を研究することに夢を感じた(笑)ため、富士山班に決めました。

山本 前任者研究からの追加事項や結果につ

いて簡単に教えてください。

小川新 前任者までは主要無機イオン中心でしたが、私の代から主要無機イオンもやりつつ重金属元素の解析が中心になっています。これまで大陸由来の空気塊流入時に増加傾向があった $ms-SO_4^{2-}$ 、石炭燃焼由来と言われるAs、Se、Cdなどに相関が見られることで、より越境汚染を裏付ける指標が増えたのではないかと思います。12月半ばには地球研で水の同位体分析も行いました。

小川智 僕から大気中

GEM (ガス状元素態水銀)の観測を始めました。2014年7、8月に行った富士山頂集中観測では、大陸からの空気塊の輸送割合がより多く7月にGEMが高濃度を示したことから、越境汚染の可能性が示唆されました。

山本 今後、どのようなことを行っていきたいですか？

小川智 次の2つを行ってきたいです。①大気中酸性物質について、PMF解析などを用いて越境汚染の影響評価 ②大気中GEMについて、自由対流圏だけでなく、都市域・森林域での挙動を解明

山本 小川智司くんありがとうございました。

大河内研ってどんなところ？

山本 お二方は他学科からの編入ですが、大河内研への志望理由はなんですか？

小川新 幼い頃から環境問題に関心があり、高校生の頃から大河内研に行きたかったです。環境問題を考えるようになったきっかけは

小学校の総合学習。地元で日本で汚い川ワーストに入る鶴見川が流れていて、

鶴見川に住む生き物調査や浄水場・下水処理場見学を通して将来は環境問題に関わる仕事がしたいなあと、なんとなく思い始めました。

小川智 私の場合は次の2つです。①環境に興味があった ②より自分自身の生活に近い研究をしてみたかった

山本 前の研究室と比べると大河内研はどんなところ



M2 小川 新

修士から科学生命化学科より転部。お酒が強く、飲ませ上手。つぶされた男は星の数…。上の写真は研究室でのポジションを表す。

ですか？良い点、悪い点両方挙げてもらえるとうれしいです。

小川新 良い点は学生同士が切磋琢磨している点、実験を積み重ねていけば必ず研究成果が残る点だと思います。悪い点は1人あたりの実験スペースが狭い点、虫と関わる機会がある点です。

小川智 良い点は研究テーマに幅があり、面白い点とみんな真面目な点ですね。悪いところは、みんな真面目なところですね笑

目などところですね笑

山本 ありがとうございます。学生はちよつと真面目過ぎますかね笑。では、研究活動の苦労話を教えてください。

小川新 虫（特に太郎坊の雲水採取器内部と多摩）とパソコンでの緻密な解析作業に苦労しました。体力勝負のサンプリングよりも虫が嫌だった：（あと太郎坊の幽霊も）

小川智 やっぱり富士山集中サンプリングですね。サ

小川新 将来は JAXA へ 小川智司 配属一年目で論文投稿

山本 小川新さん、来年から JAXA で働からしいですね。

JAXA で取り組みたいことを教えてください。

小川新 「宇宙から地球環境変動を捉える！」最先端の地球観測衛星開発に携わり、地球全体の環境問題や防災、減災に貢献したいです。それと、私自身ず

ンプリングについて、何もわからないところからスタートだったし、山頂に3回登ったし：

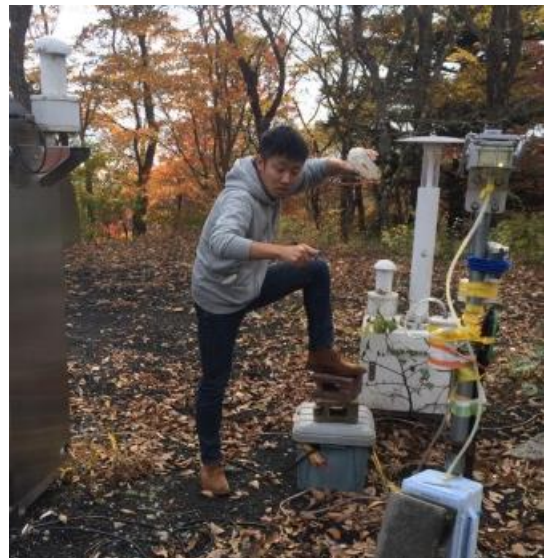
山本 虫、嫌ですよね：蟻とか巣作ってるし：。失礼しました、お二方ありがとうございました。

っと憧れていた宇宙分野は夢や挑戦の象徴だと思うので、自分もわくわくしながら働き、多くの人をわくわくさせて理系に進む人が増えてほしいと思います。

山本 社会人になったらまた富士山に登りたいですか？

小川新 体力的に登れないかな：

山本 小川新さん、ありがとうございました。JAXA でのお仕事がんばってください！



M1 小川 智司

修士から教育学部より転部。学部時代は毎日石を磨く日々。大河内研では意志を磨く日々。小川新の自称弟子。

山本 小川智司くん、研究室配属半年で論文執筆した感想をお願いします。

小川智 はじめて自分自身をほめてあげたいです（笑）

山本 あと1年あるので、もう2本ぐらい頑張っちゃってください笑。期待してます！

山本 ここまで、研究内容や生活、進路について聞いてきましたが、最後にお互いに一言ずつお願いします。



富士山観測中にパリへ… (証拠写真)

小川新 まだ一年目でわからないことも多く大変だと思いますが、二年目には大分慣れると思うのでがんばってください！いつもいろいろありがとう。一緒に富士山行くのももう数えるほどしかないけど、最後までよろしくお願いします。丸山さんと約束もしたから、来年の富士山集中観測中には太郎坊に遊びに行きます！（たぶん）

日々多くのことを学ばせて頂いてます。（↑師匠たる所以）
① 研究に対する姿勢
② 富士山集中サンプリング中にパリに行くメリハリ！！
山本 お二方、ありがとうございます。これからも富士山班の発展を願ってます。
山本 最後の最後に小川智司くん、ネタを一つお願いします！



小川智 では、なぞかけを。“大河内先生”とかけてまして“熱心な宗教信者”ときます。そのころは…
↓嫁^{カミ}（神）さんには頭が上がりません
すみませんでした（笑）